

平成21年度「専修学校を活用した就業能力向上支援事業」成果報告書

コース名	若者対象コース		
事業名	かばん関連企業と連携し、かばんづくりを学び専門技術者を育成		
法人名	学校法人 大岡学園		
学校名	ビジネス専門学校キャリアカレッジ但馬		
代表者	理事長 大岡 豊	担当者 連絡先	竹中 理 0796-24-6000
1. 事業の目的			
<p>当地方は大小さまざまなビジネスバッグ、旅行かばん袋物など、多様な形態の製造・販売を業としているかばん産業が主力であり、多くのかばん製造企業やかばん卸問屋があるが、安価な輸入品の増大と共に、地場産業における技術の伝承が非常に難しくなっており、悪循環に陥っていると考えられる。その一方で、人材育成に関しては、それぞれの企業が独自に取り組んでいる状態となっており、徒弟制度に近い状況と考えられ、統一した教育プログラムが実質的にない状況である。正社員の定着率も高くなく、技術の伝承、新たなデザイン、製造工程に関して、厳しい製造環境にある。今回の事業により、基本的な技術の修得やキャリアカウンセリングを活用して、モチベーションの向上を図り職業人になるための教育プログラム、学習機会の提供は、企業にとっての人材育成に非常に有用であると考えられる。これらの状況を踏まえ、それぞれの企業においても人材育成システムの構築を図りつつ、有為な人材を輩出することにより、より高い技術、より斬新なデザイン、製造により個性的な製品を生み出し、当地方のオリジナルブランドの確立や海外への輸出対応など、地場産業のさらなる活性化に寄与するものと推察される。このことは、地場産業の衰退に苦しむ地方都市において、全国の様々な地域で活用されていくものと推察される。</p>			
2. 事業の実施に関する項目			
①カリキュラムの概要（目的・科目数・内容・期間）			
<p>キャリアカウンセリングを適時取り入れ、職業人としての自立促進を行うとともに、ビジネスマナーを修得することにより社会人としての基本的な素養を確立する。その上で、かばんづくりの基本的な工程を学び、実践的なかばんづくりを行った。企業との連携も積極的に行ない、企業や地域との連携を踏まえた実践的な実習を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 開設講座数 : 1 講座</li> <li>● 総授業時間数 : 360 時間</li> <li>● 開設期間 : 12月1日～3月10日</li> </ul> <p>(内訳) キャリアカウンセリング 48 時間</p>			

- ・ 全体学習、個別カウンセリングを通じて、自己分析を行い、適正を見極めた。
- ・ 講習・企業実習後にフォローアップを行った。

かばんづくりの基礎 90 時間

- ・ かばんづくりの基本的な工程を学び、企業での実務内容を修得。

かばんづくり実習 120 時間

- ・ 4 箇所の実習企業先にて、型紙・ミシン等を使用し、実習を実施した。

デザイン・企画力育成 36 時間

- ・ かばんづくりの基本をもとにデザイン・企画を学び実践力修得。

ビジネスマナー 60 時間

- ・ 社会人としての基本的な素養の確立。

総合まとめ 6 時間

- ・ かばんづくりと就労意識についての総合的なまとめを実施。

## ②受講者の募集方法（手法・期間・効果）

受講者募集に当たっては、ハローワーク・関係企業とも連携し、作成したチラシを配布して募集を行った。（11月4日～11月25日）

応募状況は定員 20 名のところ 35 名。面接を行ない、全員受講対象者とした。

## ③受講者の状況

受講者 35 名の内訳は下記のとおりである。

男性 24 名、女性 11 名

年齢層は 10 代 23 名／20 代 2 名／30 代 4 名／40 代 1 名／50 代 5 名

いずれも受講開始時点では求職中ということであった。

## ④受講者の意識調査等

受講者満足度は下記のとおりであり、

大変満足：6 名（17%） 満足：18 名（51%） 普通：6 名（17%）

不満：3 名（8%） 大変不満：2 名（6%）

## ⑤受講後の状況（修了者数・就職率）

受講者 35 名中 32 名が規定の出席時間数に達したため、修了証（として学校教育法に基づく履修証明制度の対象となる履修証明証）を交付した。

修了者の全てが就職希望者であり、現在就職活動中である。

## 3. 事業の評価に関する項目

### ①当初目的の達成状況

受講者満足度は 68%であり当初設定値（65%）に達しているため講座の目的は達成した。

## ②事業の成果及び改善点

おもな成果は

1. 若者対象コースであったが、年齢に関係なく当地方の地場産業である「かばんづくり」に関心のある受講生に対し、基本的な知識および技術からデザイン・企画までの一連の内容と就労するうえで必要となるビジネスマナーを改めて再認識する場を設けることができた。
2. キャリアコンサルティングを通して、個別の対応がいかに必要であるかを感じた。受講生の満足度は80%であった。

なお、今後この講座を続けていく際には、キャリアコンサルティングの時間数を見直して実施していくものとする。

## ③次年度以降における課題・展開

かばんづくりについての教育プログラムの開発については、一応の完成を見たため、次年度はこれらの成果を活かした講座を数回開設するとともに、蓄積したノウハウを正規課程の授業に活かしより多くの若者が地場産業を大事にし、盛り上げ、地域発展に寄与できるよう努めたい。

## ④成果の普及

開発した教材を使用し、かばんづくりに携わる専門技術者が増え、地場産業の発展に寄与するため、かばん関連企業との連携を強化し、本校にて技術者養成のための講座を常時開催できる方向にすすめたい。3月11日に会議場を借用し、成果報告会を開催した。その際かばん関連企業・豊岡市内の学校長など数多くの方に教材を配布した。